
逃走中 ~ 謎の人物との対決 ~

筆筒の角

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 ～謎の人物との対決～

【Nコード】

N1237BA

【作者名】

箆笥の角

【あらすじ】

舞台は、とあるSA。サービスエリアゲームマスターは、ここで逃走中を催すが、謎の人物が妨害を謀る。果たしてゲームマスターは、妨害に負けず、無事逃走中を成功させることができるのか！また、80分間逃げ切り、96万円を獲得する者は現れるのか！！

1.1 挨拶（前書き）

ご挨拶です。

1)挨拶

初めまして！新しく小説を書く筆筈の角です！逃走中を中心として書いていくので、応援宜しくお願いします！！

逃走中は、ジャンプの頃から見ていて、すごく書きたいという思いがあつたので、書けることを凄く幸せに感じているので、精一杯頑張ります。でも初心者なので、拙い文章になってしまつかもしれませんが、ご理解の程、宜しくお願いします。

オリキャラではなく、アニメキャラが出る作品に仕上げたいこうと考えています。こちらにも、ご了承ください。

1)挨拶(後書き)

今回は、概要と逃走者紹介と意気込みです。

概要、逃走者、意気込み（前書き）

今回は、大まかな情報です。

概要、逃走者、意気込み

(エリア詳細)

今回の舞台となるのは、「とある高速道路のサービスエリア」。駐車場に停まっているトレーラーで 隠れることができ、また施設内にも潜伏できる。広さは、およそ東京ドーム2個分。なお、一般客も混じっている。

下半分・・・駐車場(トレーラー駐車)

施設・・・中央館	(1F)	お土産屋	2F	レストラン	3
F	ゲームセンター)				

西側・・・トイレ(自首用電話設置)、コンビニ、コインロッカー

東側・・・展望台、そよかぜ広場(牢獄設置)、公園

施設の入り口付近・・・屋台(全長400m)

施設の裏・・・歩道(道中の草むらに潜伏可)

(逃走者)

今回は、3作品より16人の逃走者が、80分間のゲームに挑む。

マリオシリーズ

・マリオ

・ルイージ

・ワリオ

・ワルイージ

・ピーチ

・デイジー

ボーカロイド

・初音ミク

・鏡音リン

・鏡音レン

・KAITO

けいおん！

・平沢唯

・秋山澪

・田井中律

・琴吹紬

・中野梓

・山中さわ子

以上、16人。

(意気込み)

Q目標金額は？

ルイージ「96万円です!!!」

ワリオ「当然96万円だ!ワリオ城建設のためにもな!ガッハッハ!!!」

リン「40万円位ですかね・・・」

律「全額の96万円だ〜！」

さわ子「そうね・・・60〜70万位は欲しいわ。」

○賞金の使い道は？

マリオ「最近休みないから・・・バカンスにハワイでも。」

デイジー「う〜ん、特に考えてない・・・」

KAITO「アイスを買えるだけ買います!!」

レン「ロードローラーの頭金にしようかと。」

唯「美味しいものを食べ歩きたいな〜」

梓「新しい機材を買いたいです。」

Qハンターから逃げ切れる自信は？

ピーチ「あまり無い・・・かな。」

ワルイージ「曲がり角をつかって、逃げ切りたいなあ。」

ミク「まず見つからないことを優先にしたいです。」

透「微妙だな・・・たぶんムリだと思う・・・」

紬「殺気でハンターを感じられたらと・・・」

概要、逃走者、意気込み（後書き）

次回、いよいよゲームスタート!!!

ゲームスタート！（前書き）

スタートは1番プレイヤーからです。

ゲームスタート!

30XX年 とあるビル内にて

ゲームマスター「さあ、ゲームの始まりだ・・・」

といいながら、(forward)と書かれたパネルをタッチする。

すると、2体のハンターがエリアに転送された!

一方・・・

????「ゲームマスター。君のゲームを、ちよいと妨害させてもらつよ。フッフッフ・・・」

マリオ「逃げろー!ー!ー!」

15人「オー!ー!」

ゲーム前、エリアに散らばる16人の逃走者達……

KAITO「どこに隠れよう……」

唯「ハンターはどこから来るのかな？」

ピーチ「ここにしましょー！」

レン「え？もう放出？」

ゲームスタートまで

10

ワルイージ「もう来る！」

9

律「ヤバイヤバイ……」

8

ルイーダ「怖いよお・・・」

7

ミク「ここかな？」

6

紬「ここら辺で。」

5

ワリオ「離れたところにしておくか。」

4

リン「どうしたらいいか分からない・・・」

3

さわ子「いよいよね……」

2

デイジー「ここだ!」

1

梓「うう……緊張します。」

START

残り80:00

0円

プシュー-----!ガコン!-----!

エリアに2体のハンターが放出された！

溻「始まった・・・賞金も増えてるし・・・」

が・・・
2体のハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる。それが・・・

R u n f o r m o n e y

逃走中

今回の舞台は、とあるサービスエリア。広さは、およそ東京ドーム2個分。

この中を、16人の逃走者が逃げ回る！！

ワリオ「おお！増えてる増えてる」

賞金は、1秒200円ずつ上昇。80分間逃げ切れれば、何人でも96万円を獲得できる。

唯「うん、自首もあのかな・・・」

また、このゲームは自首もできる。エリア内1ヶ所に設置された自首用電話から、

自首を申告すれば、その時点までの賞金を獲得できる。

但し、2体のハンターに捕まれば、賞金は0！

驚異のスピードとスタミナを持つハンターから逃げるのは、容易ではない！！

スタッフ「(ミッションには参加されますか?)」

ミク「行きます！頑張れば、マスターがご褒美くれるし！！」

果たして、ご褒美GETなるか・・・

梓「あ、唯先輩だ。」

唯「あ！あゝずにゃん！！」

梓と唯が合流。

梓「ちよっと・・・やめて下さい唯先輩！」

唯「いいじゃ〜ん」

逃走中でも、スキんシップは欠かさないようだ・・・

デイジー「レストランに行こう。」

移動を試みるデイジー。その近くに、ハンター。

ハンター「……………」

デイジー「ハンターに見つかりませんように……………」

ハンター「……………」

二人の距離が、どんどん縮まる……………」

デイジー「あ。見えてきた……………ってハンター!!!!!!」

ハンター「……………!!!」

見つかった……

出会い頭だったため、距離はすぐに縮まり……

ポン！！

デイジー 確保 残り15人

デイジー「祈ってたのに」

祈り、届かず……

ワルイージ「メールだ。」

確保などの情報は、メールで知らされる。

紬「屋台通りにて、デージー確保。残り15人。」もう確保者が……」

KAITO「怖い怖い……」

レン「ここから、ハンターとか見えるな。よし、ココを拠点にしよう」

早くも拠点を決めた、ボーカロイド。

レン「見つかりやすいのがマイナスだけど……」

この作戦、成功するのか……

マリオ「もう5分……6万円!?」

さわ子「これはいい稼ぎになるわ」

その頃、ゲームマスターはというと……

ゲームマスター「そろそろミッション発令だな。」

と言い、(mission)とかかれたパネルをタッチするゲームマスター。

シュン……!

エリアに、3つのハンターボックスが設置された!!

この存在が、逃走者の欲望を掻き立てることになる・・・

??? 「よし、コレで行こう。」

また、謎の人物によって、ミッションの難易度が上がる!!

ゲームスタート！（後書き）

次回、ミッション1発令！！3つのハンターボックスの意味とは！
？

ミッション1発令！（前書き）

ついにミッション1が発令！その時逃走者は？

ミッション1発令！

残り70:00 120000円

ピリリリピリリ

漣「ヒッ！！メールか・・・」

ピーチ「ミッション・・・来た・・・」

KAITO「これより賞金アップのチャンスを与える。」

ワルイージ「残り60分までにエリア3ヶ所に設置されたハンターボックス

の隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンターが放出される。」

紬「しかし、それと同時に1体放出につき1000円賞金単価がアップする。」

何?・・・このミッション。」

ミッション 賞金単価をアップせよ!

逃走者に、賞金アップのチャンスが与えられた。ゲーム残り60分までに、

エリア3ヶ所(公園、中央館2F、コンビニ前)に設置された

ハンターボックスの隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンター

1が放出される。

しかし、放出と同時に、1体につき1000円賞金単価がアップする。

0体放出	1秒200円	賞金96万円
1体放出	1秒300円	賞金132万円
2体放出	1秒400円	賞金168万円
3体放出	1秒500円	賞金204万円

しかし、放出すると、確保の確率が高まる。果たして、逃走者は

賞金増額か身の安全のどちらを選ぶのか!?

ルイージ「ハンター増やしたくないから、パスしよう。」

レン「賞金は欲しいけど・・・ハンターは増やしたくないから、行かない。」

ミッションに行くか行かないかは、逃走者の自由だ。

ワリオ「行って損はないな・・・よし行こう!!」

律「一番近いのは公園かな・・・行ってみよう!!」

ミク「コンビニの前についてみようかな。」

ミッションに向かうのは、ワリオ、田井中律、初音ミクの3人。

しかし動けば、

ハンターに見つかるリスクが高まる！

梓「唯先輩、ミッション行きますか？」

唯「私は行かないよ。あずにゃんは？」

梓「私も行きません。ハンター放出は嫌ですし。」

ミッションに向かわない二人。その前から、ハンター。

ハンター「……………」

唯「ギー太大丈夫かな？」

梓「いや、そんな心配してる暇は……ってハンター!!」

ハンター「……………!!」

ハンターも、二人に気がついた！距離は、およそ60m。

唯「あずにゃん、二手に分かれよう！」

梓「はっ、はい!!」

二手に分かれる梓と唯。ハンターが視界に捉えたのは……

梓「なんで私!?」

梓だ・・・

ハンターが、徐々に距離を詰める。

ハンター「LOCK ON AZUSA」

梓「はあ、はあ、もうダメ〜!!」

ポン!

中野梓 確保 残り14人

梓「あゝ捕まっちゃった。早いです・・・」

早々に、確保・・・

リン「確保情報だ。」

澁「中央館付近にて中野梓確保。残り14人。」梓捕まったか
」。

唯「うわあ〜ん、あずにゃ〜ん!!! (泣)」

ワルイージ「もう二人捕まってる……」

その頃、律が公園にあるハンターボックスに到着。

律「よし、レバーはどこかな……あつたあつた。」

早速レバーを下ろす。

律「よし下ろすか!」

ガシャン! シーン・・・

律「・・・・・・・・あれ? ボックスが起動しないぞ?」

そこへ、ワリオが合流。

ワリオ「何してんだ?」

律「レバー下ろしたのにハンターボックスが起動しないんだよ!」

ワリオ「何だって?」

戸惑う二人の背後から、ハンター。

ハンター「……………」

ワリオ「一体どうすればいいんだ？」

律「ん？ハンター来てるよ！」

ワリオ「マジかよ！とりあえず逃げるぞ！！」

ハンター「……………！！」

ハンターが、二人の姿を捉えた！

果たして、ワリオと律は逃げ切れるのか！？

一方……

ゲームマスター「これは一体・・・」

「???」フフフ・・・ああこの仕掛けについて気づくかな?」

ミッション1発令！（後書き）

謎の人物がハンターボックスに施した仕掛けとは！？

ハンターボックスの秘密（前書き）

ハンターに見つかったワリオと律。果たして、ハンターから逃げ切れるのか！？

そして、ハンターボックスの秘密が明らかに！！

ハンターボックスの秘密

ワリオ「ヤバい！逃げるぞ！！」

律「でもミッションはー！？」

ワリオ「そんなもん後でいいだろ！」

別々に逃げる二人。

ハンター「……………？」

二人とも、うまく撒いたようだ。

ワリオ「ゼエ、ゼエ・・・危ね〜。」

律「でも離れちゃったなあ。」

しかし、ハンターボックスから距離が出てしまった！

一方・・・

ミク「やっと着いた〜。」

初音ミクが、コンビニ前のハンターボックスに到着。

ミク「よ〜し下ろすぞー！」

ガコン!! シーン……

ミク「あれれ？」

公園のハンターボックスと同様に、レバーを下げててもボックスが起動しない!!

ミク「何で……?ん、これは!？」

律「そっぴゃさっきのボックス……」

ミク・律「レバーがもう一本あった！」

そう、謎の人物の手により、ハンターボックスのレバーがもう一本追加。

これにより、二人同時にレバーを下ろさなければ、ハンターボックスは

起動することができない!!

ミク「え〜、じゃあもう一人必要ってこと？」

一人では、ハンターボックスは起動できない!!

律「ワリオに電話しよう。」

ワリオ「電話？律からか。もしもし？」

律「ワリオ？今どこにいる？」

ワリオ「公園の傍の公衆トイレの裏だ。」

律「お願い、さっきのボックスのところに来て！レバーが2つあって、

私一人じゃ起動できないんだ！！」

ワリオ「よしわかった！今向かう！！」

ミッション終了まで 5分

ルイージ「あれ、ミクさんだ。」

偶然、ルイージが初音ミクを発見。

ルイージ「何してるの？」

ミク「実は・・・」

(説明中)

ルイージ「なるほど・・・」

ミク「はい。なので、一緒にレバーを下ろしてもらえますか？」

ルイージ「でもハンター放出は嫌だし・・・」

ミク「賞金増えたら、獲得したときの喜びも増えるんですよ!」

ルイージ「うーん・・・わかった、下ろすよ!」

ミク「ありがとうございます!」

折れたルイージ・・・

ミク「いきますよ・・・」

ルイージ「OK!!」

ミク・ルイージ「せいの・・・」

ガコン!! x2

ハンターボックス 起動

ミク「よし、起動完了!」

ルイージ「早くここから離れよう!」

これにより、ハンター1体放出&賞金単価1000円アップが確定。

マリオ「誰もミッション行ってないよな・・・」

さわ子「いまのままで十分よ・・・」

湊「(ブルブルブルブル・・・)」

ワリオ「よし、着いた!」

ワリオが、再び公園のハンターボックスにやってきた！

ワリオ「あとは待つだけか・・・」

律「あ 見えてきた！」

ミッション終了まで 3分

律の位置から、公園まではおよそ200m。果たして、間に合うのか！！

ハンターボックスの秘密（後書き）

次回、ミッション終了！賞金単価はいくらに！？

ミッション1終了！賞金単価はいくら？（前書き）

遂にミッション1が終了！賞金単価&ハンターの行方は！？

ミッション1終了!賞金単価はいくら?

ミッション終了まで 1分30秒

律「あっ、ワリオいる。」

ようやくハンターボックスに着いた律。

ワリオ「おい、遅いぞ。」

律「ゴメンゴメン。じゃあ早速下ろそう。」

ワリオ「ああ。」

律・ワリオ「「せーの……」」

ガコン！！

ハンターボックス 起動

律「あゝ疲れた。」

ワリオ「おい、休んでる暇はないぞ。早く離れるぞ！」

律「ああ！！！」

これで、ハンター2体の放出と賞金単価プラス2000円が確定。

ミッション終了まで 1分

ピーチ「1体くらいでてきそう・・・」

唯「皆やつてなってなければいいんだけどな」

レン「隠れたほうがいいのか・・・」

ミッション終了まで 30秒

KAITO「大丈夫だよな？」

紬「りっちゃんならやりかねないかも・・・」

ワルイージ「なんかヤバくね？」

マリオ「ワリオとかやりそうだな。」

ミッション終了まで

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

プシュー！！ガコン！！！！！！

エリアに、2体のハンターが放たれた！！

リン「メール・・・」ミッション1結果「」

澁「初音ミク、ルイージ、ワリオ、田井中律の4人により」

ルイージ「ハンター2体追加。現在ハンターは4体。」

さわ子「倍に増えたじゃない!!何してんのよ!!」

ミク「しかし賞金は1秒400円上昇。逃げ切れば168万円獲得。」

ワリオ「まあ、いいんじゃないの。」

(牢獄deトーク)

デイジー「あんなに札束が・・・」

梓「羨ましい限りです。」

マリオ「おいおい、やっと来たな」

愚痴をこぼすマリオの近くに、ハンター。

ハンター「……………」

マリオ「まったく、冗談じゃねえよ。」

ハンター「……………」

マリオ「ゲーム終わったら説教してやる。」

ハンター「……………!!」

ハンターがマリオの姿を捉えた!しかしマリオはハンターに気づいていない!

マリオ「あー、これからどうっすかな・・・」

ハンター「(LOCK ON MARIO)」

マリオ「まあ・・・ってマジかよ!」

マリオも、ハンターに気がついた!!

しかし、気づくのが遅く、あっという間に距離を縮められ・・・

ポン！

マリオ 確保 残り13人

マリオ「愚痴言い過ぎたな・・・油断した。」

バチが当たった、任天堂のスター・・・

律「確保情報か。」

レン「展望台付近にて、マリオ確保。残り13人。」

ルイージ「兄さん捕まった・・・僕のせいだ・・・」

唯「やっぱりハンター4体はキツイよ・・・」

ここまで、デイジー、梓、マリオの3人が確保され、残る逃走者は13人となった！！

ミッション1終了!賞金単価はいくら?(後書き)

ハンター4体となった逃走中。逃走成功者は現れるのか!?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1237ba/>

逃走中 ~ 謎の人物との対決 ~

2012年1月6日00時48分発行